



明化の教育

3月号 (第498号)

令和4年2月28日

文京区立明化小学校

校長 熊倉 勝

笑顔がもつ不思議な力 ～笑顔あふれる明化小～

校長 熊倉 勝



毎朝の笑顔の挨拶は、元気の源です

冬季北京オリンピックが幕を閉じました。日本選手の活躍が連日報道される中、女子カーリングチームが史上初の銀メダルを獲得する快挙を果たしました。その試合ぶりは観ている人だけでなく、相手チームにも大きな影響を与えたことは、ご存じのことと思います。金メダルを争った英国の選手は、日本チームの笑顔と明るさについて「大好きです。一緒に戦っていて楽しいです、本当に。カーリングにとって大事」と語っています。窮地に立っても、笑顔を絶やさず、励まし合いながら全力でプレーしている姿が心に残り、笑顔でいることで新たなパワーが宿るのではないかなと思うほどです。この笑顔の効果を調べてみると、科学的

にも証明されていて、ストレス解消や免疫力向上、脳の活性化など心にも体にもよいそうです。そして何と言っても笑顔は伝染していく性質をもち、人を幸せな気持ちにする効果があるそうです。

今年1年間、新型コロナウイルス感染症対策で教育活動に様々な制限がある中、学校には多くの場面で笑顔がありました。私自身、毎朝玄関で挨拶をして子供たちの多くの笑顔に接することで、元気と1日の活力をもらったことは間違いありません。それは、子供たち同士でも同じだと思います。子供たちが笑顔で進級できるように、また6年生は笑顔と希望をもって本校を巣立つことができるように、締めくくりの1ヶ月を大切にしていきます。

今年度の「学校評価」がまとまりました。保護者・地域の皆様には、学校評価に対しご協力をいただき、ありがとうございました。本校の教育活動については、95%の方から「満足」とご回答をいただきました。校舎改築工事に伴い学校環境に制限が加わる中、教育活動を工夫していく必要があり、保護者・地域の皆様と学校との信頼関係がこれまで以上にその重要性を増している中、学校との信頼関係は良好に構築されているといえます。また、器楽部や俳句創作、多様な体験活動など「特色ある教育活動」については、今年度98%の保護者から「満足」との回答をいただいています。今年度力を入れてきた「返事、挨拶、ありがとう、後始末」については、肯定的に捉えている子供、保護者がそれぞれ90%、93%で、これまで継続して指導を重ねた成果であると考えます。

一方、「分からない」との回答を多くいただいた設問が幾つかありました。コロナ禍のため学校公開や学校行事等の公開が十分にできなかったこともその要因の一つとして考えられます。今後は、ホームページ等を活用して学校から積極的に情報発信をしていきます。また、校庭がなく運動場所が制限される中での児童の体力の維持・向上も引き続き大きな課題です。学校評価の詳細につきましては、別に文書で報告いたしますのでご覧ください。

子供たちは仮設校舎での生活にも慣れ、自分たちで工夫をしながら元気に学校生活を送っています。開校147周年という、受け継がれてきた伝統を大切にしつつ、新たな課題解決に向けてチャレンジを続け、新しい歴史を自分たちで創り上げる気概をもったやり通す明化の子供を育成して参ります。来る令和4年度も明化小学校にどうぞ変わらぬご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。1年間のご支援に心から感謝いたします。